

平成25年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市宮崎地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

- ①引き続き担い手の高齢化、不足は毎年の課題となっており、地域の現状を地域の20代～50代の世代に知っていただくために子育て支援ネットワークや年代別をターゲットとした講座を開催しました。その講座の中で地域の福祉保健活動や地域ケアプラザの設置目的、機能等を啓発しました。
- ②課題のある町会については、地域ケアプラザの機能と利用について、所内(地域活動交流と地域包括支援センター)で連携して積極的に支援や声掛けなどをして、一緒に地域の福祉保健活動を推進しました。
- ③担当地域からケアプラザに行くには、坂を上り下りしなければならないため、こちらから積極的に向かい、ケアプラザをまだ知らない、利用したことがない住民に対してもケアプラザを広く周知しました。
- ④単身者用賃貸マンションが多い町会があり、把握や地域との関係作りが引き続き課題となっていますが、町会自体でも実態が掴めず今年度はなかなか先に進まない課題となりました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ①定管理者として、公の施設を公正・公平に管理しました。
- ②常に快適な施設を目指し、地域住民の方が安全に安心して地域ケアプラザの利用ができるように、設備等の保守点検を専門業者をお願いし、定期的に行いました。
- ③月1回の委託業者による定期清掃の他、職員も日常清掃・整理整頓に心がけ、備品管理、警備、そして、ヨコハマ3R夢プランの推進を目指しました。
- ④施設の周辺と3階の緑地帯の剪定や除草を年1回、専門業者に依頼し、衛生上及び外観を整備しました。
- ⑤施設衛生においては、感染症・食中毒予防などに力を入れ、全館の手すりやドアノブなどの消毒にも努めました。

イ 効率的な運営への取組について

- ①常に節水、節電や資源の有効活用に心がけ、資源の日常的な無駄を省く努力を職員一同継続しました。
- ②事務処理に関しても法人本部と連携して効率的に取組めるようにしました。また、インターネット上で価格を常に確認しながら、安価なものを比較、検討し購入しました。

ウ 苦情受付体制について

- ①法人では、公正・中立の立場から、第三者委員会を設置して、適切な苦情解決に向けて整備していました。
- ②「苦情相談対応マニュアル」を適宜見直し、苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して苦情受付の体制を整えその情報を職員間で早急に共有して改善に努めました。
- ③スタッフが利用者の相談を適切に対応できるよう、外部研修等に参加し、窓口（苦情相談窓口、ご意見箱、ホームページでの受付など）だけでなく、日頃から意見を言いやすい環境、関係づくりを目指しました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ①「事故防止マニュアル」、「事故等緊急時の対応マニュアル」について、今年度は職員全員で見直しを行い、共有化を図りました。
- ②災害時特別避難場所としての役割を再度見直し、区役所との連携を深め、災害備蓄物資の消費期限等のチェックを行いながら整備し、適正な管理に努めました。
- ③年2回の避難誘導訓練を行い、終了後には消火器の使用方法を確認しました。今年度も津波等震災時に備えて話し合いを行いました。
- ④緊急連絡網を適宜更新しました。
- ⑤AEDの設置に伴い、備品の使用期限や日頃からチェックを行い、整備しました。
- ⑥夜間はセキュリティシステムが稼働し、緊急時に備えました。

オ 事故防止への取組について

- ①「事故防止マニュアル」を適宜見直し、職員に周知し、共有化を図りました。
- ②業務中にヒヤリとしたことや、ハッとすることがあった場合には、今後も事故につながる可能性が高いため、その日のうちにスタッフミーティングで報告・注意喚起すると共に防止策を検討して、記録を残し、事故の未然防止に取り組みました。
- ③職員が日常的に点検や目視を行い、事故の発生予防に心がけました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ①年度はじめに「個人情報保護取り扱い意識確認チェックリスト」を全職員で実施、復習して、常に緊張感をもって対応するように心がけました。
- ②個人情報に関わる書類等は、すべて書庫に施錠して保管管理しました。
- ③不要となった情報については、シュレッダーを使用して破棄することを徹底しました。
- ④業所等への個人の報告等は郵送を基本とし、FAXでの送信の場合は2名での指差し、ダブルチェックの徹底をしました。
- ⑤携帯電話は首から紐で掛けるようにし、使用时、暗証番号の入力を必要とし普段はロックをかけました。

キ 情報公開への取組について

- ①本会のホームページや広報紙において、事業内容や決算報告等を公表しました。またホームページでも各事業の情報を随時更新して広報しました。
- ②神奈川県介護サービス情報公表システムや横浜市の施設情報案内に情報を提供し、必要に応じて内容を適宜更新しました。
各事業に関しては、2ヶ月に一度広報誌を発行し、町内会へ回覧や掲示板に、また地域の集まりの際には広報誌を配布し事業の説明を行い、地域の方に広く周知するようにしました。

ク 環境等への配慮及び取組について

- ①横浜市の取組みに準じて、冷暖房の温度設定、軽装での執務、不要な照明の消灯、使用していない事務用機器の電源オフ、ブラインド等の使用などの取組みを推進しました。
- ②ヨコハ3R夢プランに基づき、貸し館利用者にもゴミの持ち帰りの協力をお願いしました。
- ③個人情報が含まれていないかを確認してから、使用済み紙の裏紙を有効に活用しました。
- ④職員会議等でゴミの分別等について確認する時間を設け、職員の分別に対する意識を高めました。
- ⑤職員一同、節水や節電に積極的に心がけました。
- ⑥施設の緑化に力を入れ、ボランティアの協力も得て、花壇の維持管理を行いました。
- ⑦恒例の「宮崎まつり」には、資源循環局の職員にもほぼ毎年参加していただき来場者にごみの分別などを楽しみながら理解していただけるようにしました。またおまつりで出るゴミもきちんと分別をし、来場者にも分別をお願いしました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

3職種（看護師1名・主任ケアマネジャー1名・社会福祉士1名）で介護予防支援業務に従事しました。

《目標》

利用者に達成目標と支援レベルを明らかにし、また、客観的な必要性和本人の要望のすり合わせにより、自立や介護予防を促すように支援しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

ありません

《その他（特徴的な取組、PR等）》

公正中立な立場、細やかな対応を心がけ、区役所をはじめ、関係機関との連携体制を整えました。

《利用者数》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
114	119	113	114	113	114
10月	11月	12月	1月	2月	3月
113	112	109	107	109	111

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者… 1名(常勤兼務)
- ・ 介護支援専門員… 3名(常勤専従3名)

《目標》

- ・ 在宅生活を継続するために、必要なサービスを適切に利用できるように、利用者や家族の依頼を受けて、居宅サービス計画を作成しました。
- ・ 適切なサービスが提供されるよう、サービス担当者会議を開催し、担当者から専門的な意見を求め、調整しました。
- ・ サービス提供開始後は、毎月1回以上訪問することで、状況を把握（モニタリング）し、心身や環境に変化に応じた適切なサービスが提供されるように、居宅サービス計画を見直しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》
ありません

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 今年度より主任ケアマネジャーを配置し、特定事業所加算（Ⅱ）を取得し、より質の高いケアマネジメントを実施し、地域全体のケアマネジメントの質の向上も目指しました。
- ・ 各種講習会・研修会に積極的に参加し、ケアマネジャーの資質向上に努めました。
- ・ ケアプラン作成後も利用者様・家族様と連絡を取り、相談しながら必要なサービスを提供できるように支援しました。
- ・ 地域ケアプラザの居宅介護支援事業所として、地域包括支援センターと連携し、積極的に支援困難ケースの受入れを行い、必要に応じたサービスを導入し、専門性の高い対応を心がけました。

《利用者数》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月□	5月	6月	7月	8月	9月
69	73	72	85	85	86
10月	11月	12月	1月	2月	3月
88	86	86	87	89	92

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 通所介護サービス計画の作成
- 生活指導（相談援助）
- 日常機能訓練（日常生活動作）
- レクリエーション
- 介護サービス（食事、排泄、介助等）
- 健康状態の確認
- 送迎 給食 入浴

《実費負担（徴収した項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1）	728 円		
（要介護2）	855 円	（要介護3）	988 円
（要介護4）	1,121 円	（要介護5）	1,253 円

● 食費負担 700 円（おやつ代含む）

● 入浴負担 53 円

● サービス提供体制強化加算Ⅰ 13 円

● 介護職員処遇改善加算Ⅰ 介護報酬総単位数×サービス別加算率 1.9%×地域単
位10.54円の1割負担

《事業実施日数》 週7日（年末年始[12/29～1/3]を除き、年中無休）

《提供時間》 9：00～16：00、9：30～16：30

《職員体制》

管理者	1名	（常勤兼務1名）
生活相談員	4名	（常勤兼務4名）
看護職員	3名	（常勤兼務1名、非常勤兼務2名）
介護職員	12名	（常勤兼務5名、非常勤7名）
機能訓練指導員	3名	（常勤兼務1名、非常勤兼務2名）
運転業務職員	4名	（非常勤4名）

《目標に対する取組状況》

日頃、外出する機会の少ないご利用者様に健康チェック、入浴、食事、体操、レクリエーションなどを行い、一日楽しく安心、安楽に過ごしていただくと共に、その有する能力に応じ自立した日常生活ができるようサービスを提供しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ① 音楽療法の取組み：外部より講師を招き、音楽の楽しみを身近に体験していただきました。（年3回）
- ② 体操やレクリエーションを行い、楽しみながら日常動作機能訓練を行いました。
- ③ 口腔機能体操の実践：うがいや毎食前に口腔機能体操を取入れていました。
- ④ 食後の歯ブラシ・義歯洗いの奨励：口腔清潔の啓発を行いました。
- ⑤ 食事の充実：「給食委員会」にて毎月1回、メニューの見直しや要望、季節にあった行事食の内容検討など、更なる充実を図りました。
- ⑥ 嗜好調査：ご利用者の嗜好品や食事に対しての意見を伺い、嗜好に沿って取り入れるメニューや代替品の検討につなげました。
- ⑦ お客さま満足度調査の実施：調査を行い、結果内容を職員間で検討し、より喜ばれるサービスの改善に努めました。
- ⑧ 調査結果を掲示版に貼付し利用者様へ報告致しました。
- ⑨ レクリエーションの充実：園芸・トランプ・マーじゃん・書道など、ご自身で選択していただきました。また好評なアニマルセラピーボランティア（ワンタッチクラブ）に継続的に訪問活動していただきました。
- ⑩ 毎月季節にあわせた薬湯週間を設けました。
- ⑪ フロア内のレイアウト 模様替え 季節にあった作品の展示をしました。（折り紙・貼り絵等）

《利用者数（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
608	629	616	624	602	606
10月	11月	12月	1月	2月	3月
635	626	576	568	458	550

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護予防通所介護サービス計画の作成
- 健康状態の確認
- 生活指導（相談援助）
- サービス計画に基づいた機能訓練
- 送迎・入浴
- レクリエーション
- 給食

《実費負担（徴収した項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要支援1） 2, 213 円（月額）

（要支援2） 4, 432 円（月額）

● 運動器機能向上加算 238 円（月額）

● サービス提供体制強化加算Ⅰ

（要支援1） 51 円（月額）

（要支援2） 102 円（月額）

● 食費負担 700 円（おやつ代含む一食につき）

● 介護職員処遇改善加算Ⅰ 介護報酬総単位数×サービス別加算率 1.9%×地域単
位10.54円の1割負担

《事業実施日数》 週7日（年末年始[12/29~1/3]を除き、年中無休）

《提供時間》 9:30 ~ 16:00

《職員体制》

通所介護事業の全職員が介護予防通所介護事業に兼務しています。

《目標に対する取組状況》

楽しく生き生きと過ごしていただくとともに、利用者個人の有する能力に応じ、自立支援をサポートしました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ① 音楽療法の取組み：外部より講師を招き、音楽の楽しみを身近に体験していただきました。（年3回）
- ② 体操やレクリエーションを行い、楽しみながら日常動作機能訓練を行いました。
- ③ 口腔機能体操の実践：うがいや毎食前に口腔機能体操を取入れました。
- ④ 食後の歯ブラシ・義歯洗いの奨励：口腔清潔の啓発を行いました。
- ⑤ 食事の充実：「給食委員会」にて毎月1回、メニューの見直しや要望、季節にあった行事食の内容検討など、更なる充実を図りました。
- ⑥ 嗜好調査：ご利用者の嗜好品や食事に対しての意見を伺い、嗜好に沿って取り入れるメニューや代替品の検討につなげました。
- ⑦ お客さま満足度調査の実施：調査を行い、結果内容を職員間で検討し、より喜ばれるサービスの改善に努めました。
- ⑧ 調査結果を掲示版に貼付し利用者様へ報告致しました。
- ⑨ レクリエーションの充実：園芸・トランプ・マージャン・書道など、ご自身で選択していただきます。また好評なアニマルセラピーボランティア（ワンタッチクラブ）に継続的に訪問活動していただきました。
- ⑩ 毎月季節にあわせた薬湯週間を設けました。
- ⑪ フロア内のレイアウト 模様替え 季節にあった作品の展示をしました。（折り紙・貼り絵等）

《利用者数（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
95	105	110	115	120	110
10月	11月	12月	1月	2月	3月
115	110	105	105	105	115

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分（区と協議の上、策定して下さい。）

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ①職員体制は土日祝日を含めて1名以上出勤することにより、連絡があった当日に相談を受けられる体制をとってきました。
- ②民生委員児童委員との学習交流会に3回、地域の食事会に13回参加するなど、地域活動に積極的に参加してきました。その結果、地域住民からの相談が増えました。また、地域交流の自主事業へ相談員が参加することで、参加者から相談を受けることもありました。
- ③障がい者関係分科会や自立支援協議会への出席を通じ、交流を深めたことで、相談窓口の機能が周知されてきました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

- ①月1回の会議で、情報の共有・連携等を行い、必要な情報を適宜、伝達して情報共有と、問題解決に繋げました。地域情報についても、施設内での共有に努めました。
- ②共催事業を行い、参加者の状況を共有しながら、必要な支援をしていきました。
- ③地域にも一緒に出向いて、ケアプラザの周知や顔の見える関係作りに努めました。
- ④個別の課題にも連携、共有して取り組んでいきました。

3 職員体制・育成

- ①事業の資格要件および職員配置基準を満たした配置をしました。
- ②各職員の資質向上を目指し、積極的に研修に参加する機会を設けました。その他に法人内研修では、まずリーダー職を対象に、ケアマネジメント力向上研修を計画している他、所長はリーダー育成のため、宿泊研修をしました。

4 地域福祉のネットワーク構築

- ①地域の認知症高齢者とその家族を見守っていくために行っていた、他ケアプラザ開催の、医師・民生委員児童委員・ケアマネジャー等他職種ミーティングを今年度は年4回（4包括各1回）開催しました。（宮崎包括は6月17日開催）。
- ②今年度も担当地区民生児童委員協議会と学習交流会を行い、実活動に向けて相互に情報交換、共有に取り組み、実施しました。
- ③地区社協活動等の地域の福祉保健活動に企画の段階から参加し、情報交換、共有し活動の支援を継続しました。
- ④地域の福祉保健の問題を把握し、それに対する具体的な取組が行われており、その活動を支援するため関係機関（小学校・警察署・警察OB会・交通安全協会など）と地域の情報交換、共有を行いました。
- ⑤ボランティア交流会を開催し、情報交換や活動を紹介する場や機会を設けました。
- ⑥貸室利用団体と地域の交流会を開催し、活動を紹介する場や活動の場を設けました。
- ⑦地域の子育て支援団体・支援者とそれぞれの顔の見える関係づくりを行い、共催事業を開催しました。

5 区行政との協働

- ①にこまちプランを区行政、西区社会福祉協議会、自立支援協議会とともにケアプラザができることを協働で推進していきました。
- ②日頃からお互いの情報を共有し、各々の役割を担い、連携に努めました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ①地域における福祉保健活動団体や人材等の社会資源（地区社会福祉協議会・連合町内会・地区民生児童委員協議会・地域のサロンや昼食会、配食サービス等など）を把握し情報提供をしました。
- ② 奇数月年6回発行の広報紙「みやざき」、毎月発行のまもり隊活動（地域防犯、登下校パトロール）を支援する「まもり隊ふれあい情報通信」発行し、町内回覧や掲示、当事者へ直接配布を行い、またホームページを定期的に更新しました。
- ③会場利用団体の活動を紹介し、交流会を開催しました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ①地域福祉保健活動団体の利用を促進するため、PR 広報(広報紙、チラシ、館内や地域掲示板への掲示など)活動をしました。
- ② 空き室情報を利用者にわかりやすいように、随時館内に掲示しお知らせしました。
- ③福祉保健活動のニーズを定期的に情報紙にて提供しました。

3 自主企画事業

- ①昨年開催した認知症の予防と現状維持・現状改善を目指した学習療法サロンの継続と今年度は介護予防も目指し、体操や料理、歌などを取り入れ毎週定期的で開催し、軽い認知症の方の改善や進行を抑えた活動ができました。
- ②上記事業開催に伴う、高齢者支援ボランティアを育成しました。
- ③生活習慣病予防・改善を目指した体作り講座を開催し、包括と連携で自主化しました。
- ④引き続き、男性の参加率の多い活動の場の提供を開催しました。
- ⑤顔の見える子育て支援者のネットワークの交流、情報交換やイベント活動を行いました。
- ⑥地域住民交流事業とケアプラザ啓発の事業に力を入れ、小学生親子の事業への参加が定着してきました。
- ⑦地域住民、施設利用者などのアンケートや声から、ニーズに合った事業を、今年度は「終活セミナー」を開催しました。
- ⑧自主化した団体への支援(共催事業や地域などでの活動の場)を行いました。
- ⑨65歳未満や、介護保険サービスなどの利用対象外の地域住民に、状況に応じて既存の講座で受入れを行いました、それに伴うボランティアの育成を行いました。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ①各自主事に合ったボランティアの育成を行いました。またボランティア講座を受けた方と自主化した団体へ活動支援を引き続き行い活動に繋がりました。
- ② 地域ケアプラザのボランティアコーディネートの啓発、利用促進を行い、実活動へ繋がりました。
- ③ボランティア活動のための情報紙を定期的に発行し、館内に掲示し、活動へ繋がりました。
- ⑤ サブコーディネーターをボランティアコーディネーターとして育成しました。
- ⑥ 西区社会福祉協議会、区内のケアプラザと連携しボランティアの育成に努めました。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- ①いつでも相談できる地域の身近な相談窓口としての機能を実現するため、土日祝日を含めて毎日1名以上の職員が出勤するようにしました。
- ②サービスを拒否している方など、1度の相談で解決に至らなくても、継続的に相談・訪問を繰り返すことにより、サービス導入につないできました。
- ③障がい者関係分科会や自立支援協議会への出席により、関係作りをしました。その結果、中途障がいの方について連携を図ることができました。

地域包括支援ネットワークの構築

地域の民生委員や医療関係者、ケアマネジャー、介護保険サービス事業所、家族会等の多業種が、一同に集まる事例ミーティングを20人規模で開催し、顔を合わせた関係からネットワーク構築へ徐々に繋げていきました。

実態把握

- ①地域から個別相談を受けた後、サービス必要時に迅速に対応できるよう、継続して定期的に電話連絡や訪問を行うことで実態把握をしました。
- ②民生委員児童委員の集会や地域の食事会など、地域の情報が集約される場所に積極的に参加し、ニーズを予測することで予防的対応をしました。

2 権利擁護

権利擁護

- ①相談の中から1件、成年後見人制度申立て支援として、申し立て書類の書き方を支援しました。
- ②区長申し立てはありませんでしたが、リーガルサポートを通して、弁護士と連携し、本人申し立てが行われるよう支援しました。
- ③みやざき広報誌に制度の説明を掲載し、その広報誌を配布しながら、制度の説明を行い、普及活動に務めました。

高齢者虐待

- ①身体的虐待ケースがありました。高齢者虐待相談受付票を提出し、区と連携して面接相談などを行いました。また、セルフネグレクトのケースもあり、何度も訪問して関係性を築いて説得をし、医療機関やケアマネジャー等と連携して対応した結果、サービスにつなげることができました。
- ②認知症サポーター養成講座など地域住民が集まる場で、虐待種別や虐待予防への取り組みなどを説明しました。
- ③介護者のつどいを3回実施し、2名の新規参加者がありました。

認知症

- ①高齢者支援ボランティア講座の「認知症の家族の方へのサポートを知る」の説明を職員が担当し、認知症サポーター養成講座を開催しました。
- ②介護者のつどいで認知症サポーター養成講座を開催しました。
- ③地域で活動されているシニアクラブ・友愛会の方々に認知症サポーター養成講座を開催しました。
- ④小学校3校、郵便局、銀行へも出向き認知症サポーター養成講座を開催しました。
- ⑤西区4包括主任ケアマネジャーとの交流会で、製薬会社の社員を講師として認知症の新薬の話をしていただきました。

3 介護予防マネジメント

二次予防対象者把握

自主事業・総合相談・出前講座・お祭りなどを通じて、基本チェックリストを100名に行い、二次予防事業には4名の方をケアマネジメントにつなげました。また二次予防対象者の把握だけでなく、機能向上維持を目的に基本チェックリストを行いました。

介護予防ケアマネジメント力

- ①要支援者が要介護状態にならないように区役所や医療・介護関係機関との連携を深めて、日常生活の課題の早期発見をして適切な支援を行いました。
- ②要介護状態になっても介護保険の理念である本人の尊厳と自立支援を意識して、在宅での生活が継続できるように、担当のケアマネジャーと連携していきました。
- ③区と包括で共催し介護予防支援従事者研修を行いケアマネジャー30名の参加がありました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ①地域で行われている高齢者食事会やお茶会、お祭りなど地域に出向く機会を通じて連携の推進や地域ニーズの把握を行っていきました。
- ②地域住民と近隣の医療機関、ケアマネジャーや介護保険サービス事業所を繋げる役割を担いました。
- ③民生委員児童委員学習交流会に3回参加し、民生委員児童委員と地域のケアマネジャーとの交流会も2回主催しました。

医療・介護の連携推進支援

- ①ケアプラザ近隣の医療機関や介護保険サービス事業所を月1回のペースで訪問して顔の見える関係づくりをしていきました。
- ②一人暮らしや要介護認定を受けていても介護保険サービスの利用のない方の支援について、区役所との月1回の定例カンファ等で情報を共有して継続的に支援していきました。

ケアマネジャー支援

- ①西区内に4箇所ある包括支援センターの主任ケアマネジャーが共催し、ケアマネジャー勉強会(ケアマネサロン)は今年度も年10回20名の参加規模で開催しました。毎回30名近くの参加があり、交流の場としても有益でした。
- ②日頃から近隣のケアマネジャーが相談しやすい雰囲気づくりを心がけて、ケアマネジャーが抱え込まずに、また孤立しないように支援に努めていきました。
- ③近隣の先輩ケアマネジャーが開催するサービス担当者会議に、新人ケアマネジャーの参加を促し、相互交流及び学びと気づきの場づくりに努めていきました。

介護予防事業

介護予防事業

- ①高齢者が自ら「介護を必要とする状態になることを未然に防止し、できるだけ身体の機能を維持・改善すること」を目指し、年1回(2コース)の介護予防教室を実施しました。内容は、基本チェックリスト・介護予防体操・栄養・フットケアで構成しました。会場は宮崎地域ケアプラザから遠方の町内会館を借りてプログラムを開催しました。
- ②骨粗しょう症への予防、改善、意識づけのための3回連続講座を開催しました。
- ③歩行能力の向上と転倒防止等の安全を高めるために、フットケアを取り入れた講座を開催しました。

その他

--

平成25年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：宮崎地域ケアプラザ

平成25年4月1日～平成26年3月31日
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援			
収入	指定管理料収入	18,564	23,522	173	0			
	介護保険収入				6,266	10,571	54,249	6,063
	その他							
	職員給食費	2	149			188	656	
	委託料(認定調査)					151		
	事業参加負担	2,296	166					
	ケアプラン原案作成					1,027		
	収入合計(A)	20,862	23,837	173	6,266	11,937	54,905	6,063
支出	人件費	13,720	19,994			16,713	46,414	
	事務費	1,490	777			6	9,564	
	事業費	523	135	171				
	管理費	6,466	1,719			384	14,432	
	その他							
	施設使用料相当額						1,990	
	他居介支委託料				4,051			
	支出合計(B)	22,199	22,625	171	4,051	17,103	72,400	0
	収支 (A) - (B)	-1337	1212	2	2215	-5166	-17495	6063

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※精算書をベースに作成してください。

平成25年度 自主事業報告書

横浜市宮崎地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
①介護者のつどい	日頃介護している方が、同じ介護している仲間と時間を共有し、支えあう場として、実施。 4回のうち1回は、西区在宅介護者のつどい「あけぼの会」との交流会として実施。	6月・8月・10月・3月の各1回 (計4回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
②介護予防サロン	地域の高齢者の介護予防、閉じこもり予防の場として実施。高齢者向けにアレンジしたエアロビクスを行った。	通年、月2回 (24回実施)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
③権利擁護事業 (4包括社福)	地域住民が高齢者の暮らしについて考える場として、また、成年後見制度についての普及活動の場として、講座や寸劇を実施した。	11月・2月の各1回 (計2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
④障がい児余暇支援 (自立支援協議会余暇支援分科会共催)	障がい児・者の余暇支援として実施。8月には地域のお祭りに参加し、地域住民との交流という目的ももって実施した。1月には、お餅つき大会を行った。	8月・1月の各1回 (計2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑤ケアマネ勉強会(ケアマネサロン：4包括主任ケアマネ共催)	目的：西区近隣ケアマネの交流および情報共有の場 内容：講師を招いての学習交流、多職種との連携のためのグループワーク	年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑥宮崎まつり	お口の健康をテーマに口腔相談・展示を実施	10月19日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑦民生・児童委員とケアマネジャーとの交流会	民生委員児童委員と地域のケアマネジャーの交流を図ることを目的に、相続や成年後見制度についての講座を交流のツールとして実施	9月・3月の各1回 (計2回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
⑧フラダンス講座 ゆっくりコース (地域交流と共催)	高齢者の介護予防・生きがいづくりのためにフラダンスを実地	年22回

平成25年度 自主事業報告書

横浜市宮崎地域ケアプラザ 定期事業

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者支援事業 ミニデイ 「いきいきサロン宮崎」	目的：家庭に閉じこもりがちな高齢者に外出の機会をもち、仲間同志の交流を図る。また、高齢者同志の見守り、CPとのかかわりも方も随時伝えていく場。介護予防啓発 内容：会食会、レクレーション他	毎月第2水曜日 11:30～14:00 12回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援事業 「わくわく親子プラザ」	目的：未就園の乳幼児の親子を対象。子育てしていく中でのお母さん同志のコミュニケーションや子育ての支援。 内容：季節に合ったプログラムや親子レク、食育、座学他	毎月第1月曜日 10:30～12:00 12回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援事業 「ぼっ・ぼっ・ぼっwithみやぎキッズ」	目的：乳幼児親子同志とおはなし会ボランティアグループ・CP職員の交流の場。 内容：親子サロン+乳幼児のおはなし会を開催する。CP職員が子育て相談などを行う。読み聞かせ、手遊びなどで交流を図る。	原則毎月第3月曜日 10:30～12:00 12回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援事業 「天使のほっぺ」	目的：0歳児親子を対象。お母さん同士とCP職員との交流の場。子育ての相談・支援。 内容：サロン型を中心に、赤ちゃん体操や子どもの発達、離乳食の座学や子育ての情報交換など。	毎月第3水曜日 10:30～12:00 11回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援事業 「パパあのおね!!」	目的：お父さん同士とCP職員との交流の場。地域の担い手として啓発。 内容：お父さんならではのダイナミックな体を動かす遊びを中心に、子どもとの関係性や遊びの意味を学びながらコミュニケーションを図る。	毎月土曜日1回 10:30～12:00 12回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
癒しのフラダンス講座 (包括と共催)	目的：西区地域保健計画の基本目標2「活気にあふれ、健康なまち」を目指し開催します。①健康な体をつくる②健康な心をつくる③健康への意識づけ④地域住民の交流の場⑤様々な世代の交流の場 内容：フラダンス	原則毎月第2・4月曜日 10:30～12:00 12回・10回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域支援事業 「ワンコイン音楽サロン」	目的：「歌う」「新しい歌を覚える」ことで体と心の健康を作りを支援します。地域住民・異世代交流の場 内容：毎月の歌と継続して歌い覚える歌の指導	毎月第3土曜日 13:30～15:30 12回開催

平成25年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域支援事業 まもり隊事務局	目的：平成16年度地域支えあい連絡会にて地域の声があがり、平成17年度4月より活動を開始した、子どもの見守り・町内の防犯を目的とした下校、防犯パトロール隊。「地域の子どもは地域で守る。」が合言葉。 活動内容：行政が主動で活動している組織が多い中、連合町内会・地域住民が主動で活動している。地域支えあい連絡会は発展的解散はしたが、活動は現在も続いている。CPの役割は事務局。各町内会の活動把握や行政（警察・消防署・区）との連絡調整、また小学校行事に伴う下校時間、休校など小学校と連携し情報紙の発行や子どもや教職員との親睦会など3小学校との調整など。	見守り・防犯活動は町内会単位ではほぼ毎日活動 連絡調整随時 情報紙、3小学校分毎月発行。
事業名	目的・内容	実施時期・回数
脳いきいき 宮崎マージャン クラブ	目的：マージャンをツールとした会護予防・引きこもり防止 異世代交流・地域交流をメンバーで図る 内容：宮崎地域CP版のルールを作り、参加者でマージャンを楽しむ。メンバー同士の交流。	毎月第2・4 土曜日 13:30～17:00 23回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
Boy'sキッチン ワーカーズ	目的：男性の上級者向け料理教室。料理をツールとした福祉保健活動を行う。 内容：献立を考え、レシピを見て料理を作る。	毎月第2月曜日他 10:00～13:00 12回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性のための料理教室	目的：男性の初心者向けの料理教室 内容：包丁の持ち方から、食材の切り方、調味料の計量の仕方、レシピの見方など料理の基本から簡単な食事を作る。	毎月第3水曜日他 10:00～13:00 10回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
お菓子づくりボランティア「パティシエ・ガールズ」	目的：お菓子をツールとした福祉保健活動を行う。 内容：地域住民の集まる活動（講座や地域のイベント）にお菓子を作り提供する。	毎月第1土曜日他 10:00～12:30 10回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人の学校	目的：学習療法を用いた、認知症・介護予防・改善を目指したサロン 内容：学習療法・参加者同士、サポーターとの交流他	毎週火曜日 13:30～15:30 49回開催
事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニアビクス 上級者コース	目的：シニア向けエアロビクスで健康作り、地域住民の交流。地域のリーダー育成。 内容：シニアビクス、シニアビクス指導者の育成	毎月第1・3 木曜日 13:30～15:30 12回×2回

平成25年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おりがみクラブ	目的：おりがみを通した脳トレ。介護予防。地域住民の交流。 内容：おりがみサロン	毎月第3 火曜日 10:30～12:00 12回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きちんと弾けるようになるウクレレ講座 ソロ初歩コース	目的：西区地域保健計画の基本目標2「活気にあふれ、健康なまち」を目指し開催します。①健康な体をつくる②健康な心をつくる③健康への意識づけ④地域住民の交流の場⑤様々な世代の交流の場 内容：ソロが弾けるようになるためのテクニックを学ぶ。	毎月第2・4土曜日 18:00～19:00 12回・10回開催

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きちんと弾けるようになるウクレレ講座 初歩の初歩コース	目的：西区地域保健計画の基本目標2「活気にあふれ、健康なまち」を目指し開催します。①健康な体をつくる②健康な心をつくる③健康への意識づけ④地域住民の交流の場⑤様々な世代の交流の場 内容：ウクレレの持ち方から、基本を学ぶ。 簡単なコードで曲が弾けるようになる。	毎月第2・4土曜日 19:00～20:30 12回・10回開催

平成25年度 自主事業報告書

横浜市宮崎地域ケアプラザ 単発事業

	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
4月	高齢者支援 ボランティア講座	目的:①大人の学校のボランティアを育成する。 ②地域の認知症のサポーターを育成する。 内容:高齢者・認知症のことを学び、支援の仕方を学ぶ。 学習療法を学ぶ。	2日・9日・16日 (火)13:30~ 15:30 全3回
	まもり隊 全体会	目的:昨年度の活動の振り返りと今年度の活動の確認。 内容:各種関係機関との情報交換・交流。 活動の確認や課題解決に向けた話し合い。	11日(木) 10:00~12:00 1回
	小学生 パン作り教室	目的:①小学生親子に地域ケアプラザを知っていただく。②異学年・異小学校・異世代の交流 内容:パンを作る。異学年・異小学校・異世代の交流を行った。	27日(土) 10:00~12:00 1回
7月	宮崎七夕 マージャン大会	目的:①マージャンをツールとした介護予防・引きこもり防止②参加してくださった方を単発事業から定期事業へ繋げる。 内容:マージャン大会	7日(日) 10:30~15:30 1回
	地域コミュニケーション講座 「歌舞伎鑑賞と昼食のお誘い」	目的:「歌舞伎」をツールに地域住民を集め地域ケアプラザを知って頂き交流を深める。 内容:①地域ケアプラザを知る ②地域住民同士の交流③歌舞伎鑑賞	27(土) 12:00~17:00 1回
	小学生の 自由研究教室	目的:①小学生親子に地域ケアプラザを知っていただく。②異学年・異小学校・異世代の交流 内容:貝やブリザードフラワーなどを使ったタペストリー	29(月) 10:00~12:00 1回
8月	作業所のおいしい クッキーを作ろう。 小学生のクッキー づくり教室	目的:障がい者作業所のメンバーと小学生の交流。交流することで障がい者のことを知ってもらう。 内容:①障がい者啓発②クッキー作り	8(木) 10:30~12:30 1回
	障がい児余暇支援 (自立支援協議会余 暇支援分科会共催) 虫の音へ行こう!!	目的:障がい児者たちと地域住民の交流。ボランティアとの交流。障がい者の啓発。 内容:地域のおまつりに参加して、夏の一夜を楽しむ。	24日(土) 時間未定 1回
	パパとママの 乳幼児救急法	目的:乳幼児の現役パパとママにいざという時に備えて救急時や起こりやすい事故、病気の手当と予防を学ぶ。 内容:乳幼児に起こりやすい事故、病気と発熱・けいれんなどの症状に対する手当と予防を、人工呼吸・心臓マッサージAEDを用いた除細動などを習得しました。	25日(日) 10:00~12:00 1回
	子育て支援イベン ト みやざき縁日	目的:子育てしていく中でのお母さん同士のコミュニケーションや子育ての支援。職員や地域子育て支援者とのコミュニケーションの場。 内容:縁日	31日(土) 11:00~13:00 1回

平成25年度 自主事業報告書

10月	第14回宮崎まつり	目的：①地域住民とCPの交流の場。②地区社協と共催することで地域住民との繋がりを深めていく。③CP啓発。 内容：福祉保健活動をなされてる地域住民や障害者施設、団体による模擬店。貸室団体による催し物など	19日(土) 11:00~14:00 1回
	大人の社会科見学	目的：バスハイクを通して地域住民、職員との交流 内容：東京スカイツリーとソラマチ散策	28日(月) 9:00~17:00 1回
10月 11月	終活セミナー	目的：少子高齢化に伴い自分のエンディングに不安のある方向けに、具体的なエンディングの準備を学ぶ。 内容：①私の終活・正しい終活すすめ ②エンディングノートの書き方 ③良いお葬式って？	10/31 14・28(木) 13:30~15:30 全3回
12月	小学生クリスマスリース作り講座	目的：①小学生に地域ケアプラザを知っていただく。 ②異学年・異小学校・異世代の交流 内容：クリスマスリース作り。松ぼっくりでツリーを作りデイサービスの利用者にプレゼントし交流を図る。	1日(日) 10:00~12:00 1回
	小学生七宝焼講座	目的：①小学生に地域ケアプラザを知っていただく。 ②異学年・異小学校・異世代の交流 内容：貸室団体に協力していただき七宝焼きを作り、地域の高齢者と交流を図る。	14日(土) 10:00~12:00 1回
	カニカピラin宮崎	目的：ケアプラになかなか来館しない世代(30、40代)と高齢者の異世代交流。地域ケアプラザの周知、啓発。 内容：ウクレレをツールとした参加型演奏会。	14日(土) 14:00~16:00 1回
1月	異世代交流 ふれあい交流	目的：異世代交流による住みよい地域づくり 幼稚園児と高齢者が交流することで、地域に戻ってからの関係作りも期待する。高齢者自身も地域の幼稚園児を意識した生活を送ることで、声掛けや見守りの活動を進んでしてくれます。また、幼稚園側も地域に興味を持ち地域のことを知ろうと様々な活動に協力してくれる。 内容：①高齢者と幼稚園児の交流 ②レークレーション ③会食会	30日(木) 11:00~13:00 1回
	障がい児余暇支援 (自立支援協議会 余暇支援分科会共催)	目的：西区内の同世代の障がい者たちとの交流の場。ボランティアとの交流。障がい者の啓発。 内容：餅つきを中心とした活動。	25日(日) 11:00~14:00 1回
3月	宮崎ショータイム ～みんなで楽しみ まショー～	目的：貸室利用団体の地域への福祉・保健活動への支援。と共に地域や当CPでのボランティア活動への啓発や貸館利用者同士の情報交換の場。地域との交流の場。 内容：①貸室利用団体への福祉保健活動啓発・意識づけ②貸室利用団体のネットワークづくり ③地域住民へのボランティアコーディネート周知 ④地域住民と貸室団体の交流	9日(日) 13:30~16:00 1回

平成25年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
高齢者 しあわせサロン宮崎 毎月第2水曜日	70歳以上の一人暮らし・日中独居	429,897	49,197	380,700	3,341	419,836	6,720
	75歳以上の高齢者世帯						
	40名						
	500円他実費						
子育て 親子わくわくプラザ 毎月第1月曜日	1歳～未就園親子	42,966	32,766	10,200	9,926	26,320	6,720
	なし						
	原則なし						
子育て ぽっ・ぽっ・ぽっWith みやざぎッズ	未就園親子	41,783	41,783	0	35,063	0	6,720
	なし						
	なし						
子育て 天使のほっぺ 毎月第1金曜日	0歳児親子・プレママ	23,059	23,059	0	0	16,339	6,720
	登録15名						
	原則なし						
子育て パパあのおね！ 毎月土曜日	1歳～未就園父子	29,002	29,002	0	0	22,282	6,720
	登録15名						
	原則なし						
地域支援事業 ワンコイン音楽サロン 毎月原則第3土曜日	地域住民誰でも	216,383	25,383	191,000	153,682	160,402	6,720
	40名						
	500円						
地域 フラダンス講座 ゆっくり (包括と共催) 全12回・全10回	地域住民誰でも	104,719	37,719	67,000	97,999	0	6,720
	各10名						
	全12回 12000円						
	全10回 10000円						
地域 きちんと弾けるようになるウクレレ講座 ソロ初歩コース 毎月第2・4土曜	地域住民誰でも	226,067	8,067	218,000	226,067	0	0
	各10名						
	全12回 12000円						
	全10回 10000円						
地域 きちんと弾けるようになるウクレレ講座 初歩の初歩コース 毎月第2・4土曜	地域住民誰でも	169,937	-63	170,000	152,567	10,650	6,720
	各10名						
	全12回 12000円						
	全10回 10000円						
地域 脳いきいき宮崎マージャンクラブ 毎月第2・4土曜	地域住民誰でも	102,560	560	102,000	16,705	72,415	13,440
	28名 1回200円						
高齢者 大人の学校 毎週火曜日	地域住民誰でも	264,011	29,511	234,500	107,972	142,599	13,440
	15名 月4回 1500円						
地域 男性のための料理教室 毎月第3水曜日	男性ならだれでも	41,813	3,313	38,500	0	35,093	6,720
	7名 500円						
地域 Boy'sキッチンワーカーズ 毎月第2月曜日	男性ならだれでも	31,141	1,141	30,000	0	31,141	0
	7名 500円						
地域 おりがみクラブ 毎月第3火曜日	地域住民誰でも 10名 1回100円	30,065	22,465	7,600	30,065	0	0

平成25年度 自主事業収支報告書

地域 シニアビクス上級者コース 毎月第1・3木曜日	地域住民誰でも 15名 12回6000円×2	157,455	2,455	155,000	120,000	24,015	13,440
ボランティア パティシエ・ガールズ 毎月第1土曜日	地域住民誰でも 5名 なし	0	0	0	0	0	0
地域ボランティア育成 高齢者支援ボランティア講座 単発 全3回 4/2・9・16	地域住民誰でも 20名 100円	1,254	254	1,000	0	1,254	0
小学生 小学生パンづくり教室 単発 1回 4/28	小学生親子 20名 300円	8,718	1,818	6,900	0	8,158	560
地域 まもり隊全体会 単発 1回 4/10	活動者 50名 なし	0	0	0	0	0	0
地域 宮崎七夕マーじゃん大会 単発 1回 7/7	地域住民誰でも 28名 500円	30,368	2,368	28,000	0	29,808	560
中学生 中学生のためのボランティア講座 全4回 7/24・25 7/30～8/10 Vor活動8/11	区内在住中学生 20名 なし	1,680	1,680	0	0	0	1,680
地域 歌舞伎鑑賞と昼食のお誘い 単発 1回 7/27	地域住民 32名 3800円	128,761	7,161	121,600	0	128,201	560
小学生 子ども自由研究教室 単発 1回 未定	小学生以上 20名 1000円	25,560	5,560	20,000	5,000	20,000	560
障がい者・子ども 小学生クッキーづくり教室 単発 8/8	小学生以上 20名 300円	10,641	4,341	6,300	5,000	5,081	560
障がい児・者 障がい児余暇支援 単発 1回 8/24	障がい児者 10名 500円	11,660	10,160	1,500	2,226	7,374	560
子育て支援 パパとママの幼児救急法 単発 1 8/26	未就園児親子 10組 100円	2,857	2,157	700	0	2,297	560
子ども・地域 みやざき縁日 単発 1回 8/31	地域住民 なし なし	66,284	24,784	41,500	0	64,884	1,400
地域 第14回 宮崎まつり 単発1回 10/19	地域住民誰でも なし なし	181,518	87,818	93,700	31,137	147,581	2,800
地域 大人の社会科見学 単発1回 10/28	地域住民誰でも 40名 5500円	337,400	7,400	330,000	0	336,280	1,120
地域 終活セミナー 10/31・11/14/28全3回	地域住民誰でも 30名 なし	0	0	0	0	0	0
小学生 小学生のクリスマスリース作り講座 単発1回 12/1	小学生 20名 1000円	25,560	5,560	20,000	5,000	20,000	560

平成25年度 自主事業収支報告書

小学生	小学生						
小学生七宝焼講座	20名	15,628	6,128	9,500	5,568	9,500	560
単発1回 12/1	1000円						
地域	地域住民誰でも						
カニカピラ in X'mas	30名	15,085	3,685	11,400	11,137	3,388	560
単発1回 12/14	500円						
地域	貸館利用者						
宮崎ショータイム	なし	12,601	12,601	0	0	11,201	1,400
単発1回 未定	なし						
障がい児・者	障がい児者						
障がい児余暇支援	未定	0	0	0	0	0	0
単発 1回 未定	未定						
地域	当CPボランティア						
ボランティア交流会	なし	5,990	5,430	0	0	5,430	560
単発1回 未定	なし						
地域	地域住民誰でも						
カニカピラ in 宮崎	30名	560	560	0	0	0	560
単発1回 未定	500円						
地域	地域住民						
異世代ふれあい交流会	40名	17,128	17,128	0	0	16,568	560
単発1回 未定	なし						
		2,810,111	512,951	2,296,600	1,018,455	1,778,097	116,480

事業ごとに事業別計画書単表に内容を記載してください。

平成25年度 自主事業収支報告書

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
①介護者のつどい	介護者と本人 介護保険に関心 のある方	7,312	7,312	0	0	7,312	0
	原則なし・内容に より実費徴収						
②介護予防サロン (エアロビクス・脳トレ)	60歳以上一般高 齢者	153,824	54,824	99,000	120,000	20,384	13,440
③権利擁護事業 (4包括社会福祉士)	地域住民すべて	5,000	5,000	0	0	5,000	0
④障がい児余暇支援 (自立支援協議会余暇支援分 科会共催)	障がい児・者	6,370	6,370	0	0	6,370	0
	なし						
⑤ケアマネサロン (4包括主任ケアマネ共催)	近隣ケアマネ	1,775	1,775	0	0	1,775	
	全10回						
⑥宮崎まつり	地域住民すべて	12,930	12,930	0	0	12,930	0
	なし						
⑦民生委員とケアマネ交流会	民生委員	11,136	11,136	0	11,136	0	0
	近隣ケアマネ 全2回						
⑧フラダンス講座 (地域交流との共催)	地域住民すべて	103,599	36,599	67,000	97,999	0	5,600
	全12回12,000円 全10回10,000円						

事業ごとに事業別計画書単表に内容を記載してください。